

役者評判記

子13
3849
14





桂山ゆゑん船ふね

雲うろて来る
不ふ作さ事こと

月つき見み盃さかづき

音ねらんと
舟ふね前まへ

花はな見み小こ袖そで

五ご七しち刀やいばりりる
女おんな形かたち

麗水

~~手18
286
3849
194~~

手18
3849
14



手 13
3849
巻 14

14

後者福若志

京之巻

目錄

京

後

見物が盛まる花の都

川西北破ひ

小諸と若あをむ夜年

三芝居北破ひ

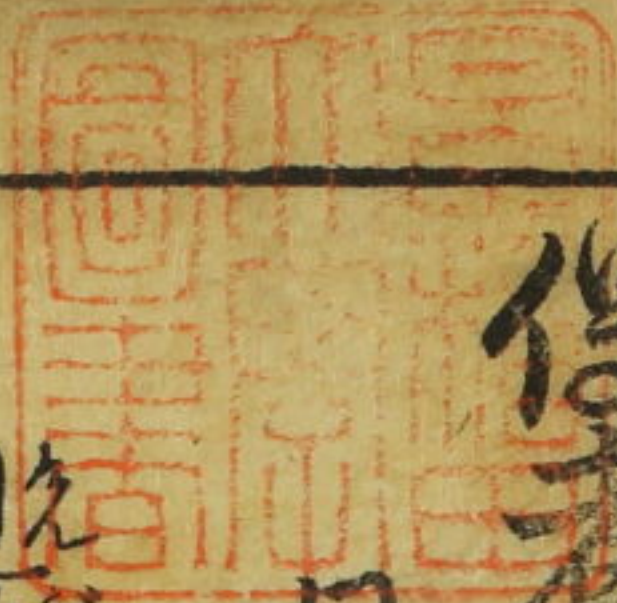
物候鶴島

見物代員で京箱福

付リ

大への新小判着入此よの

産北破ひ



京

後

上

弓始ふるる矢車 ゆこころがめ ちこ やぐるま

付リ

町中の噂のひひいさぐ六つうり まちぢう ころも
上手俊者さあまももをかま うづま せうや

中

愛船をよめる後員心叶 たうぶなのつ く ちんぶう

付リ

ひひいさで出世せしりま ひひいさで せうせ
船のせのた目か細子かき ふねのせのためか さいし

下

京北義用ひひ銀箱 きやうきたけもち ひひぎんばこ

付リ

ひひいこの見物い俊者ふこま七掛綱 ひひいこの けんぶつ いせうしや ふこま 七かづな

京三芝居後俊者同鏡
後代都万太史 彦中中村富十郎
後代色衣采衣彦彦山本 京彦
後代煙子彦彦彦彦中わじ 小六

▲立役之部

○風流いさその拍をぞうたのどら

巻巻

嵐 三右衛門 彦彦

上吉

娘よそまり ちづむく

宴巻

柳山小四郎 小六彦

上吉

柳川新四郎 同彦

上吉

中村新又郎 彦彦

上吉

中村新又郎 彦彦

上吉

中村新又郎 彦彦

上吉

中村新又郎 彦彦

上吉

中村新又郎 彦彦

上吉

中村新又郎 彦彦

上吉

中村新又郎 彦彦

上吉

中村新又郎 彦彦

上書 山本 宗四郎 彦中親

やえん三郎子 わらうこく

上書 菅 大者 小六彦

菅三郎子 できりく

上書 柳山 四郎 日彦

大車三郎子 ながしき

上書 藤 源 宗彦

大車三郎子 ながしき

上書 山本 孝三郎 日彦

大車三郎子 ながしき

上書 藤 源 七三郎 小六彦

藤三郎子 ちりく

上書 坂本 勉三郎 宗彦

坂本三郎子 ちりく

上書 橋山 今富三郎 宗彦

橋山三郎子 ちりく

上書 辰 恩 宗彦 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

上書 菅 大者 小六彦

正帝川六十郎兼上中村老十良 四十
正次村政又即軍正三津重盛 兼
正殿山園九良小六 正帝山得十良 四十

上吉 松嶋茂平次 四十

上正 藤尾七郎次 日産

上上 小倉山百助 小六産

上上 畠田彦四郎 兼産

上上 仙國長妙 小六産

上上 市川和山 小六産

上上 尾上源次 四十産

上上 花車飛之部 兼産

上上 花津若之部 兼産

上上 若女飛之部 兼産

上上 萩野八重桐 兼産

上上 新野川 兼産

上上 飯沢門吉郎 日産

上上 辰恩 久菊 小六産

上上 松嶋 長吉郎 兼産

上上 あり 小六 産

上上 芳沢 玉壽 兼産

上上 浅尾 元又郎 兼産

上上 中村 冨十郎 産

上上 坂東 冬三良 小六産

上正 栄徳氏之助 小六産

志々丸あき 小六産

上正 尾上菊又郎 日産

勝上かちのり 日産

上正 山木 京彦 彦本

あま川あまがわ 彦本

上正 山木 行と助 小六産

あま川あまがわ 小六産

上正 若田勘太郎 日産

あま川あまがわ 日産

上正 中村 春世三良 日産

あま川あまがわ 日産

上正 佐田川 善徳 日産

あま川あまがわ 日産

上正 山本 八重菊 志々丸 一平 彦本

あま川あまがわ 彦本

上正 山本 八重菊 志々丸 一平 彦本

あま川あまがわ 彦本

上正 山本 八重菊 志々丸 一平 彦本

あま川あまがわ 彦本

上正 山本 八重菊 志々丸 一平 彦本

あま川あまがわ 彦本

上正 山本 八重菊 志々丸 一平 彦本

あま川あまがわ 彦本

上正 山本 八重菊 志々丸 一平 彦本

あま川あまがわ 彦本

上正 山本 八重菊 志々丸 一平 彦本

あま川あまがわ 彦本

上正 山本 八重菊 志々丸 一平 彦本

あま川あまがわ 彦本

上正 山本 八重菊 志々丸 一平 彦本

あま川あまがわ 彦本

上正 山本 八重菊 志々丸 一平 彦本

あま川あまがわ 彦本

上正 山本 八重菊 志々丸 一平 彦本

あま川あまがわ 彦本

上正 山本 八重菊 志々丸 一平 彦本

あま川あまがわ 彦本

上正 山本 八重菊 志々丸 一平 彦本

あま川あまがわ 彦本



あふじのも
やうやうなる

あけ
さき

あけ
さき

あけ
さき

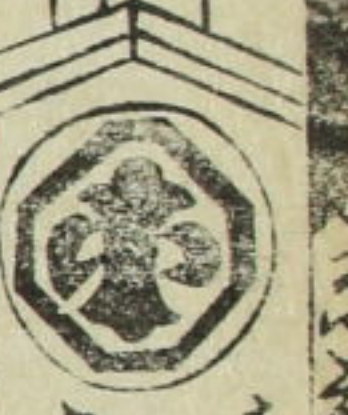
あけ
さき

あけ
さき

あけ
さき

あけ
さき

あけ
さき



新銀万歳礎

二番後

里々の馬二
藤松七三郎

てりけの三
坂本三三郎

石堂のひかり
辰屋辰左衛門

うわのまの三
尾上三三郎



深谷の
柳屋三三郎



王の八
堀川新左衛門

おごん三
辰屋辰左衛門
大むさし

みさの町三
はなつら

大子
女名三
うら



長持

長持

長持

長持

此の事... 功果... 功果の事... 功果の事... 功果の事...

上 ① 相山惣七 軍手

上 ② 大和川宗助 小六

右の事... 功果... 功果の事... 功果の事... 功果の事...

▲ 実効之部 ↓

上吉 ③ 八幡宮... 五十

功果... 功果の事... 功果の事... 功果の事... 功果の事...

功果... 功果の事... 功果の事... 功果の事... 功果の事...

功果... 功果の事... 功果の事... 功果の事... 功果の事...

功果... 功果の事... 功果の事... 功果の事... 功果の事...

功果... 功果の事... 功果の事... 功果の事... 功果の事...

功果... 功果の事... 功果の事... 功果の事... 功果の事...

功果... 功果の事... 功果の事... 功果の事... 功果の事...

功果... 功果の事... 功果の事... 功果の事... 功果の事...

功果... 功果の事... 功果の事... 功果の事... 功果の事...

功果... 功果の事... 功果の事... 功果の事... 功果の事...

功果... 功果の事... 功果の事... 功果の事... 功果の事...

功果... 功果の事... 功果の事... 功果の事... 功果の事...

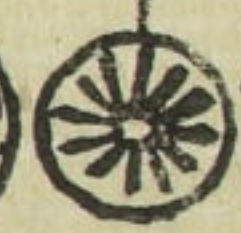
功果... 功果の事... 功果の事... 功果の事... 功果の事...

功果... 功果の事... 功果の事... 功果の事... 功果の事...

功果... 功果の事... 功果の事... 功果の事... 功果の事...

功果... 功果の事... 功果の事... 功果の事... 功果の事...

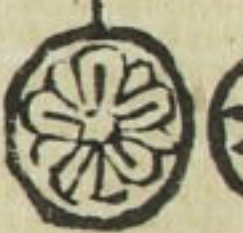
▲花車取之部



市川弁山

小六巻

上書



尾上源次

五十五巻

同位の名二ふりて市川丸九巻者
まが女房よりまきと夫をわむごるまき
あましく源次といへ世川太田女房おとると
あり先妻とてつてまきとてふまきとの
りつていふまきといふまきとまきと

上上



花車清と極楽巻

尚都長尾源次後長とて其子と
をれをねくまきと性といひてまきとふうと
徳平云松林とまきと極楽子と評判を
宮内平の松林とまきと極楽子と極楽
及まきの女中方もわらぬとて女子れと

上吉



秋野金桐

巻五

秋野金桐は女中方もわらぬとて女子れと
あましく源次といへ世川太田女房おとると
あり先妻とてつてまきとてふまきとの
りつていふまきといふまきとまきと
あましく源次といへ世川太田女房おとると
あり先妻とてつてまきとてふまきとの
りつていふまきといふまきとまきと
あましく源次といへ世川太田女房おとると
あり先妻とてつてまきとてふまきとの
りつていふまきといふまきとまきと

知方人持守の心算を執理を以て忠教
を奉養す建つ海を以て心算を奉養す
くまを以て心算を奉養すくまを以て心算
くまを以て心算を奉養すくまを以て心算
くまを以て心算を奉養すくまを以て心算
くまを以て心算を奉養すくまを以て心算
くまを以て心算を奉養すくまを以て心算
くまを以て心算を奉養すくまを以て心算
くまを以て心算を奉養すくまを以て心算
くまを以て心算を奉養すくまを以て心算

上上言 尚 松徳志之部 義経

松徳志之部 義経
松徳志之部 義経
松徳志之部 義経
松徳志之部 義経
松徳志之部 義経
松徳志之部 義経
松徳志之部 義経
松徳志之部 義経
松徳志之部 義経
松徳志之部 義経

松徳志之部 義経
松徳志之部 義経
松徳志之部 義経
松徳志之部 義経
松徳志之部 義経
松徳志之部 義経
松徳志之部 義経
松徳志之部 義経
松徳志之部 義経
松徳志之部 義経

上上言 尚 小六 義経

小六 義経
小六 義経
小六 義経
小六 義経
小六 義経
小六 義経
小六 義経
小六 義経
小六 義経
小六 義経

久松守忠公の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に

上書 芳沢世宗 軍十卷

久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に

上上 久松の御新官を以て此の御門に

久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に

上上 中村の御新官を以て此の御門に


久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に
久松の御新官を以て此の御門に

もあゆみく妻あぬといふこと
先んなく改め親系將に和化よとてく

上上  坂東老三郎 小六

梅方女 白ひし梅方 うしろ たる女并老三郎
梅方子 赤ついで小六 梅方 執次 赤

藝よりまゝに梅歌を母もよき所樂なる
けたのよ歌や人好男言うたを歌え合せてか
く妻あぬといふこと 梅方 梅方 梅方 梅方
梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方

上上  采女民之助 小六

梅方女 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方
梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方

梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方
梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方

梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方
梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方

梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方
梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方

梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方
梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方

梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方
梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方

梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方
梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方

上上  山本京房 屋本

梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方
梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方

梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方
梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方

梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方
梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方 梅方

上  久保帯世 屋本

上  久保帯世 屋本

上吉 中山新九郎 彦平

七番 實西のてやまのちのちのち

上吉 中村宗十郎 岩井彦

八番 候くとわりののちのちのち

上吉 佐渡鶴忠又良 日彦

九番 びんばのちのちのちのち

上吉 岩井半四郎 彦平

十番 藝いんちのちのちのち

上吉 村山平十郎 十彦彦

十一番 藝のちのちのちのち

上吉 喜山 源七 日彦

十二番 龜事いんちのちのち

上上 山下又吉郎 中山彦

十三番 ちのちのちのちのち

上上 中松長四郎 十彦彦

上上 松本十平次 岩井彦

上市 山泉助岩井上市川宗八十彦

上吉 坂川平九郎 中山彦

十四番 頭人風のちのちのち

上吉 嵐 勘四郎 岩井彦

十五番 実方くのちのちのち

上吉 坂川半三良 十彦彦

十六番 頭いんちのちのち

上吉 市山信又郎 日彦

十七番 ちのちのちのちのち

上上 佐川 文彦 岩井彦

十八番 頭風のちのちのち

上上 後余平九郎 十彦彦

十九番 頭いんちのちのち

上上 猪山若又郎 中山彦

二十番 ちのちのちのちのち

上上 三保清八郎 岩井彦

二十一番 実方よちのちのち

九番 実方よちのちのち

▲ 秋假之部

上上 菖川 文彦 中山産

上上 唱海 小孫吉 十巻産

上上 中嶋 義右衛門 同産

上上 正安 建伴 秀中山 正村 ぬみ 十巻 岩井

上上 正留 國成 又 又 日 正市川 普賢 十巻

上上 正秋 山 友 又 又 日 正菖川 平彦 岩井

上上 岩車 形之部

上上 為川 小多 勝 岩井産

上上 中村 子十 良 十巻産

上上 泉 平三 郎 中山産

上上 乃介 形之部

上上 吉田 十良 多 勝 十巻産

上上 大 壺 百 妙 同産

上上 ありし 幼三 郎 同産

上上 正南 小 万 助 中山 正徳 國 九 又 七 岩井

上上 依 理 川 花 毒 中山産

上上 芳 沢 あ や 免 十巻産

上上 泉 川 子 十 助 中山産

上上 花 井 花 毒 同産

上上 三 保 本 七 右 郎 十巻産

上上 花 桐 冬 松 中山産

上上 竹 中 長 吉 十巻産

上上 平 愚 八 十 八 岩井産

上上 平 愚 八 十 八 岩井産

上上 平 愚 八 十 八 岩井産

上上 平 愚 八 十 八 岩井産

上上 平 愚 八 十 八 岩井産

上上

富沢常子 中山産

上上

岩代三郎 岩井産

上上

依後徳和子 同産

上上

生徳 柏木 十産産

上上

依後徳 同産

上上

妻山 同産

上上

さど徳八三郎 岩井産

上上

松徳子代 中山産

上上

芳沢 同産

上

津川 岩井産

▲

岩井産 依子の分 花初 岩

▲

一河 中村 岩

▲

一河 下 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

▲

一河 岩

以上

叔おのりやうよまま

小糸は孫のち後甲此也

養子代がに究の花

家馬が氣と張生記の内三味

女郎も首と授が

風流軍配圖 全豹の巻

三浦の孫の粹は氣と香邊直

付り 表のち子けふの角ある

右のりづる表意向の他り正月二月の

中出の 龜やゆたは雨女中此あはせ

中よは表はるん三下下

三味線に氣をこする巻はれ今有

丸柄おりのも余やうの葉もる

城は孫の氣をたゞるあるも表は氣

文はく宝形は今後原のり解はと

ふく春うはとわそふも表は解はと

竹は林を今後雲さひらびと表は丸

後徳の氣はぬまに教子形は丸いり

才は後津よ今後さかぬるも表は丸

養子のも今後さかぬるも表は丸

養子も今後さかぬるも表は丸

三味線



曲登臈永代蒞

岩井産
三番後



三保入家

大でけ

安政政略

松平十平次

小治政

大政

中村
宗十郎



大でけ

大政

岩田美松

徳川文彦

大でけ

小虎とていふては教目とある

市野中津川河津とていふ

ちりりいひの事いふもよろ

美もいふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては

いふては



おやまのくまのさんごん
大倭金錦山
中山彦
三番後



三つんご
大倭常世

三つんご
大倭常世

大倭

宗女
大倭

大東園
大東園
大東園
大東園

ひのき



大倭常世
大倭常世

大倭常世
大倭常世

大倭常世
大倭常世

大倭常世
大倭常世

大倭常世
大倭常世

大倭常世
大倭常世

大倭常世
大倭常世

大倭常世
大倭常世

大倭常世
大倭常世

と更相自らの仕玉之業は各男く
る海の水波をも徳舟にもさうくひい
ぬ書教を命綿山佐又若のつと
ありあひのさし様機井あひの
し波舟の更寄れ従るゆり
あひのさし井の娘のゆり
くもても更井のさし昌のさし

中村宗十郎 岩井

と更相自らの仕玉之業は各男く
る海の水波をも徳舟にもさうくひい
ぬ書教を命綿山佐又若のつと
ありあひのさし様機井あひの
し波舟の更寄れ従るゆり
あひのさし井の娘のゆり
くもても更井のさし昌のさし

依波流也 岩井

と更相自らの仕玉之業は各男く
る海の水波をも徳舟にもさうくひい
ぬ書教を命綿山佐又若のつと
ありあひのさし様機井あひの
し波舟の更寄れ従るゆり
あひのさし井の娘のゆり
くもても更井のさし昌のさし

岩井 岩井

と更相自らの仕玉之業は各男く
る海の水波をも徳舟にもさうくひい
ぬ書教を命綿山佐又若のつと
ありあひのさし様機井あひの
し波舟の更寄れ従るゆり
あひのさし井の娘のゆり
くもても更井のさし昌のさし



福
相将錦嫁入

十彦彦
三番後



後山平十郎

中村十彦

大田

むつこの殿

中村十彦

竹中



生海柏木

大田

大田

市川

大田

吉田

大田

吉田

此科中の娘とて其方々遊遊つて世を
 此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を
 此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を
 此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を
 此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を

全上書

①

多の徳之部

十巻

此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を
 此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を
 此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を
 此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を
 此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を

此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を
 此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を
 此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を
 此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を
 此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を

全上

②

佐川文彦

三巻

此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を
 此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を
 此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を
 此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を
 此の世を遊遊とて其方々遊遊とて世を

敵役之部

全上

③

後余年九部

十巻

七十九

与和年 護ふらう 三村あり 世に評判く 三
 大目 護ふらう 三村あり 世に評判く 三
 あり 先んて 護ふらう 三村あり 世に評判く 三
 女に 護ふらう 三村あり 世に評判く 三
 まま 護ふらう 三村あり 世に評判く 三
 へ 護ふらう 三村あり 世に評判く 三
 まい 護ふらう 三村あり 世に評判く 三
 来り 護ふらう 三村あり 世に評判く 三
 室に 護ふらう 三村あり 世に評判く 三

(主書)

狩中書又部 中山産

与和年 西行書 月 横揚之 長柄の 七後九高産
 勤も 護ふらう 三村あり 世に評判く 三
 て 護ふらう 三村あり 世に評判く 三
 女 護ふらう 三村あり 世に評判く 三

(主書)

三保書八部 中山産

(主書)

若川文彦 中山産

(主書)

一 若川小孫 十巻産

与和年 護ふらう 三村あり 世に評判く 三
 大目 護ふらう 三村あり 世に評判く 三
 女に 護ふらう 三村あり 世に評判く 三
 まま 護ふらう 三村あり 世に評判く 三
 へ 護ふらう 三村あり 世に評判く 三
 まい 護ふらう 三村あり 世に評判く 三
 来り 護ふらう 三村あり 世に評判く 三
 室に 護ふらう 三村あり 世に評判く 三

先車形之部

(主書)

若川小孫 十巻産

与和年 護ふらう 三村あり 世に評判く 三
 大目 護ふらう 三村あり 世に評判く 三

公の母は... 姓母...
千太郎... 中村子十郎... 十巻
泉... 中山巻
乳母...

道形之部

吉田十郎... 十巻

大松百介... 十巻

山崎...

...

...

大松百介... 十巻
山崎...
山崎...
...

姓女形之部

山下金作... 十巻

...

...

...

...

...

何れも... 久から... 老由... 中... 心... 里... 食... 今... け...
何れも... 久から... 老由... 中... 心... 里... 食... 今... け...
何れも... 久から... 老由... 中... 心... 里... 食... 今... け...
何れも... 久から... 老由... 中... 心... 里... 食... 今... け...
何れも... 久から... 老由... 中... 心... 里... 食... 今... け...
何れも... 久から... 老由... 中... 心... 里... 食... 今... け...
何れも... 久から... 老由... 中... 心... 里... 食... 今... け...
何れも... 久から... 老由... 中... 心... 里... 食... 今... け...
何れも... 久から... 老由... 中... 心... 里... 食... 今... け...
何れも... 久から... 老由... 中... 心... 里... 食... 今... け...



芳沢わが兜 十彦彦

今... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫...
今... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫...
今... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫...
今... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫...
今... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫...
今... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫...
今... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫...
今... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫...
今... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫...
今... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫...

うまひにたかきをばすまの類とせむるありし流

主吉 家川の助 中巻

大蔵入のまゝるる者かまざるる家川はたかかぐんご

うく今もあまのついでにたかかざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

編 1101

平

1101

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

主吉 家川の助 中巻

大蔵入のまゝるる者かまざるる家川はたかかぐんご

うく今もあまのついでにたかかざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

たかかざるる者かまざるる者かまざるる者か

編 1101

上上 竹中実吉 十卷

大膳 此のまゝのしるしをたがへて公を榮
ちき妻を奪ふ成程とほめておこす
おまのしを返すは小宗たるをいふに
上上 平巻八十八 巻終

上上 平巻八十八 巻終

上上 平巻八十八 巻終

上上 平巻八十八 巻終

上上 平巻八十八 巻終

上上 平巻八十八 巻終

上上 平巻八十八 巻終

上上 平巻八十八 巻終

上上 平巻八十八 巻終

上上 平巻八十八 巻終

上上 平巻八十八 巻終

上上 平巻八十八 巻終

上上 平巻八十八 巻終

上上 平巻八十八 巻終

上上 平巻八十八 巻終



竹中実吉

十卷



平巻八十八

巻終



平巻八十八

巻終



平巻八十八

巻終

地和してはるるもの類言新を成神る式アを
まじらしたるるやあやどしううと云々二人
とらんぐるは肉をまきましてとまきと

上上



佐渡徳を登 十巻

上上



春山三又郎 同産

大膳 佐渡徳を登の類言新を成神る式アを
まじらしたるるやあやどしううと云々二人
とらんぐるは肉をまきましてとまきと
おき松娘とめけるは角より一玉は徳の
城はらひは後く新めらるけいせいの巻を
るの巻をうら秋門おとせりては徳を登
わまにふぶ宝とては徳を登の類言新を成神る式アを
まじらしたるるやあやどしううと云々二人
とらんぐるは肉をまきましてとまきと

上上



佐渡徳八三郎 同産

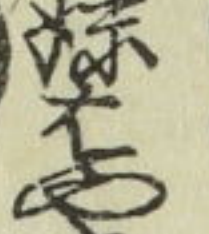
上上



松崎子代徳 中巻

大膳 佐渡徳を登の類言新を成神る式アを
まじらしたるるやあやどしううと云々二人
とらんぐるは肉をまきましてとまきと
おき松娘とめけるは角より一玉は徳の
城はらひは後く新めらるけいせいの巻を
るの巻をうら秋門おとせりては徳を登
わまにふぶ宝とては徳を登の類言新を成神る式アを
まじらしたるるやあやどしううと云々二人
とらんぐるは肉をまきましてとまきと

上上



多沢万世 中巻

上上



津川孝又郎 同産

大膳 佐渡徳を登の類言新を成神る式アを
まじらしたるるやあやどしううと云々二人
とらんぐるは肉をまきましてとまきと
おき松娘とめけるは角より一玉は徳の
城はらひは後く新めらるけいせいの巻を
るの巻をうら秋門おとせりては徳を登
わまにふぶ宝とては徳を登の類言新を成神る式アを
まじらしたるるやあやどしううと云々二人
とらんぐるは肉をまきましてとまきと

▲三ヶ所飛之部

上上



岩田幾松 同産

大膳 佐渡徳を登の類言新を成神る式アを
まじらしたるるやあやどしううと云々二人
とらんぐるは肉をまきましてとまきと
おき松娘とめけるは角より一玉は徳の
城はらひは後く新めらるけいせいの巻を
るの巻をうら秋門おとせりては徳を登
わまにふぶ宝とては徳を登の類言新を成神る式アを
まじらしたるるやあやどしううと云々二人
とらんぐるは肉をまきましてとまきと

あつと揚々判判を事なる南の事なる

上上 市野川

上上 吉田万石部

大講 吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

吉田万石部

大富江必舞花 又書續
主 生海士四良は放ふ女と云里書目仕打
主 中村幸四郎は川幸助と号する平 二良六郎
主 藤原正房は女家老役は老を云と云書
主 半平次を名たる乃云云と云書
上 中村徳九郎は乃云云と云書
上 藤原正房は乃云云と云書
主 秋田春四郎は乃云云と云書
主 市村五右衛門は乃云云と云書
主 市村五右衛門は乃云云と云書
主 市村五右衛門は乃云云と云書
上 市村五右衛門は乃云云と云書
主 市村五右衛門は乃云云と云書

倭者福者志 江戸之巻

目録

委々々々々々々々々々々々

委々々々々々々々々々々々

委々々々々々々々々々々々

今時の風流花浄電 二冊 續

付り 藝のさうりの花は江戸
参り年の大入

上

立身此優者の立身此仕合

付り わつらふお方のうら曲三味線
ひまもせ三味線のあむら

中

笑用ひるま子の親方仕合

付り 見抱引しそる三味せん
ぢもいさねお名人のあ合

下

狸島此大入の銀本仕合

付り 女飛の色三味線
さうし町 中村勘三郎座
ふき町 市村竹之助座
こびし町 川原橋権之助座

▲立役之部

上吉

〇見立対拍づらよそなのどろ
沢村宗十郎 中村座

上吉

大谷 廣次 市村座

上吉

市川 團秀 川原橋座

上吉

三条勘次郎 中村座

上吉

中村七三郎 日座

上吉

強倉長九郎 川原橋座

金丸おむねと同日
あつたのき座

上 早川傳四郎 中村産

ろくがしと向ふ ふいむらむ

上 坂田定四郎 市村産

上 中村四郎次 川原産

上 山中平九良 市村産

上 松本仲又郎 川原産

上 村山次郎左衛門 日向産

上 介山松四郎 市村産

上 正太右文彦 市上坂本肥又又川原産

▲南久の島五段之部

上 荻原信三郎 川原産

神谷のちち向ふ わさりのまを

上 市川今園十良 市村産

神谷と向ふ てさ抱下や

上 津打門三郎 中村産

秋のろく向ふ 義小雲又と

上 出来嶋平八 川原産

上 市川宗三郎 市村産

ありやと向ふ あへがさ

上 中嶋三甫右衛門 中村産

ひんせと切と向ふ けんとてよ

上 鳴見文四郎 日向産

仲を此月と向ふ ものまを

上 市川園四郎 川原産

上 松本幸四郎 市村産

▲歌後之部

上 大谷新左衛門 市村産

けりうと向ふ ふいむらむ

上 夏川八右衛門 中村産

きこのさうと向ふ あまごがわ

上 成川伴右衛門 日向産

綱のちと向ふ ふいむらむ

上 中嶋三右衛門 市村産

上 川島仙四郎 川原産

上中嶋勲助 市村 上中村 平十郎 中村
上三浦留吉 川邊 上美徳 十郎 市村
上沢村 石丸 将 上六右 大左衛門 曰
上岩井 九平次 曰 上小畑 山守 又 川邊

▲乃布飛之部

中村 右 吉 清 中村 彦

上吉 市 六 右 曰 市 村 彦

市 村 彦 南 小 市 村 彦

市 村 彦 南 小 市 村 彦

上上 市 村 彦 三 又 七 中 村 彦

上上 仙 國 彦 十 郎 市 村 彦

上上 市 村 彦 八 中 村 彦

上市川 彦 彦 市 村 彦 又 川 邊

▲花車飛之部

市 村 彦 中 村 彦

上上 市 村 彦 中 村 彦

上夜軍 市 村 彦 中 村 彦

上書 市 村 彦 中 村 彦

市 村 彦 市 村 彦

上書 市 村 彦 市 村 彦

市 村 彦 市 村 彦

上書 市 村 彦 中 村 彦

市 村 彦 市 村 彦

上書 市 村 彦 市 村 彦

市 村 彦 市 村 彦

上書 市 村 彦 市 村 彦

市 村 彦 市 村 彦

上書 市 村 彦 市 村 彦

市 村 彦 市 村 彦

上書 市 村 彦 市 村 彦

市 村 彦 市 村 彦

上 萩屋 市村産

上作中金化 中村 上野場 かの入 川原場
上吉備 萩村 中村 中村産

▲中村産色子の分 坂田 庄太の 荻人
おじ 西作 び下 沢村 菊孫 おぶく

天和川 喜多 井 深川 島又 島 島
深川 吉孫 島 坂田 島松 島

深川 門島 島 島 島 島 島
所中 島川 島 萩 萩 萩 萩

島 島 島 島 島 島 島
坂田 島 島 島 島 島 島

所中 島松 島 島 島 島 島
萩川 島 島 島 島 島 島

深川 島 島 島 島 島 島 島
島 島 島 島 島 島 島

▲市村産色子の分 市村 島 島 島 島 島
萩川 島 島 島 島 島 島

坂田 島 島 島 島 島 島 島
島 島 島 島 島 島 島

天和川 島 島 島 島 島 島 島
所中 島 島 島 島 島 島 島

▲島 島 島 島 島 島 島 島 島 島
坂田 島 島 島 島 島 島 島

島 島 島 島 島 島 島 島 島 島
島 島 島 島 島 島 島 島 島

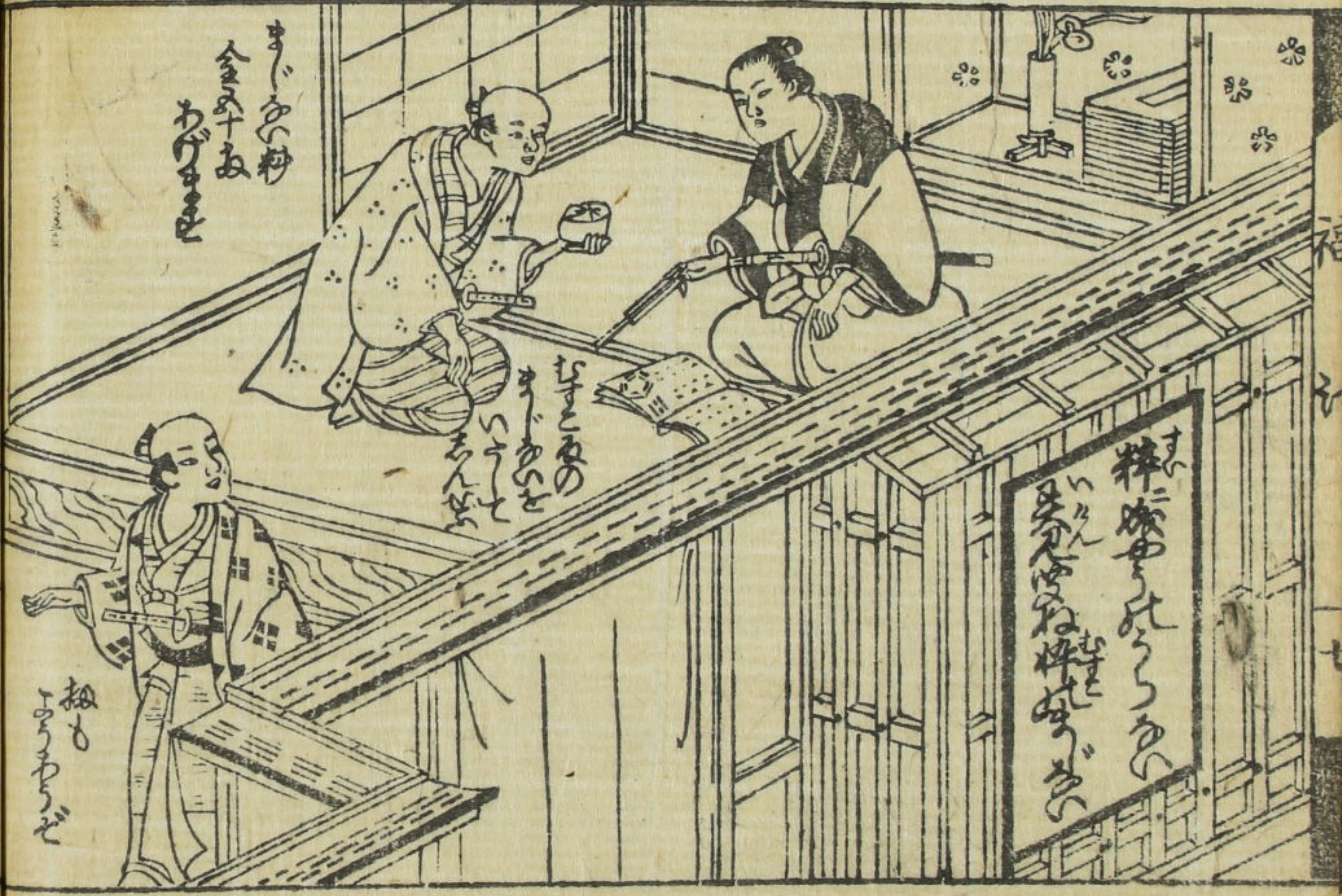
坂田 島 島 島 島 島 島 島 島 島 島
島 島 島 島 島 島 島 島 島 島

島 島 島 島 島 島 島 島 島 島
島 島 島 島 島 島 島 島 島 島

▲島 島 島 島 島 島 島 島 島 島
島 島 島 島 島 島 島 島 島 島

上上 大和川 島 島 島 市村産
そのは 島 島 島 島 島 島 島

上 市村産 島 島 島 島 島 島 島





混源七小町

市村彦
田番後

三原のニ子
徳島

大石

大石

大石

大石

大石

大石

大石

大石

大石

大石

大石

大石

大石

大石

大石

大石

大石

大石

大石

大石

大石

大石



市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

市川今園子部市村巻

あがまへ多岐の民衆の住む所を記す

上下



松本小大御所村

松本小大御所村の民衆の住む所を記す

▲民衆の部

上吉 市川宗三郎

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す

市川宗三郎の民衆の住む所を記す



市川宗三郎

上吉

市川宗三郎



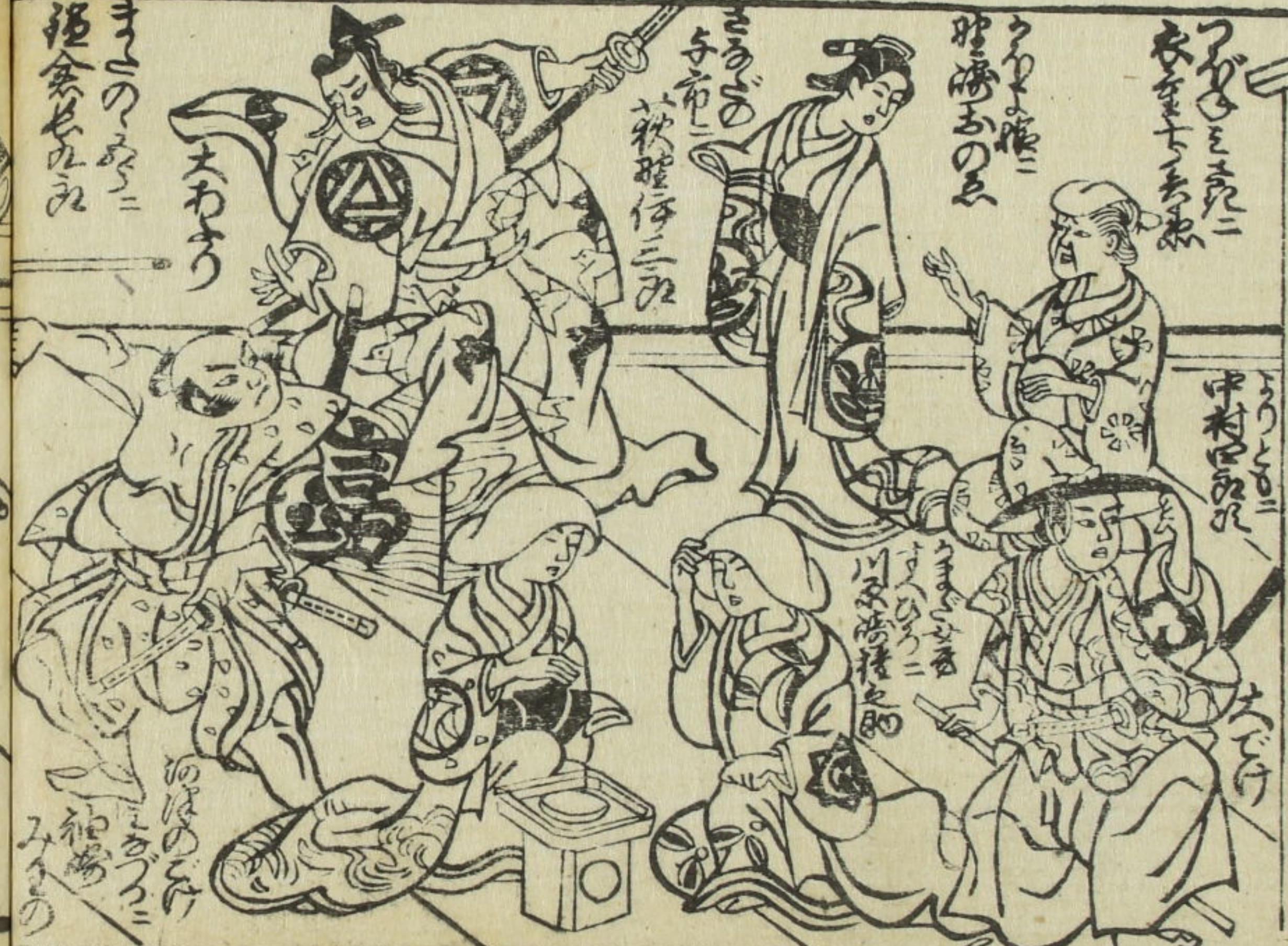
方歳辨修百日記

つたてとまら二
衣まきとまら

うやと腰二
膝滑ふの長

まのの
と布二
秋腰二

まこののあ二
鏡余長丸二
大わき



中村の
あつと

あつと
あつと

あつと
あつと

あつと
あつと

大でけ

いとし入る三

市川園田

いととあつと腰三

あつと

あつと
二浦和園田

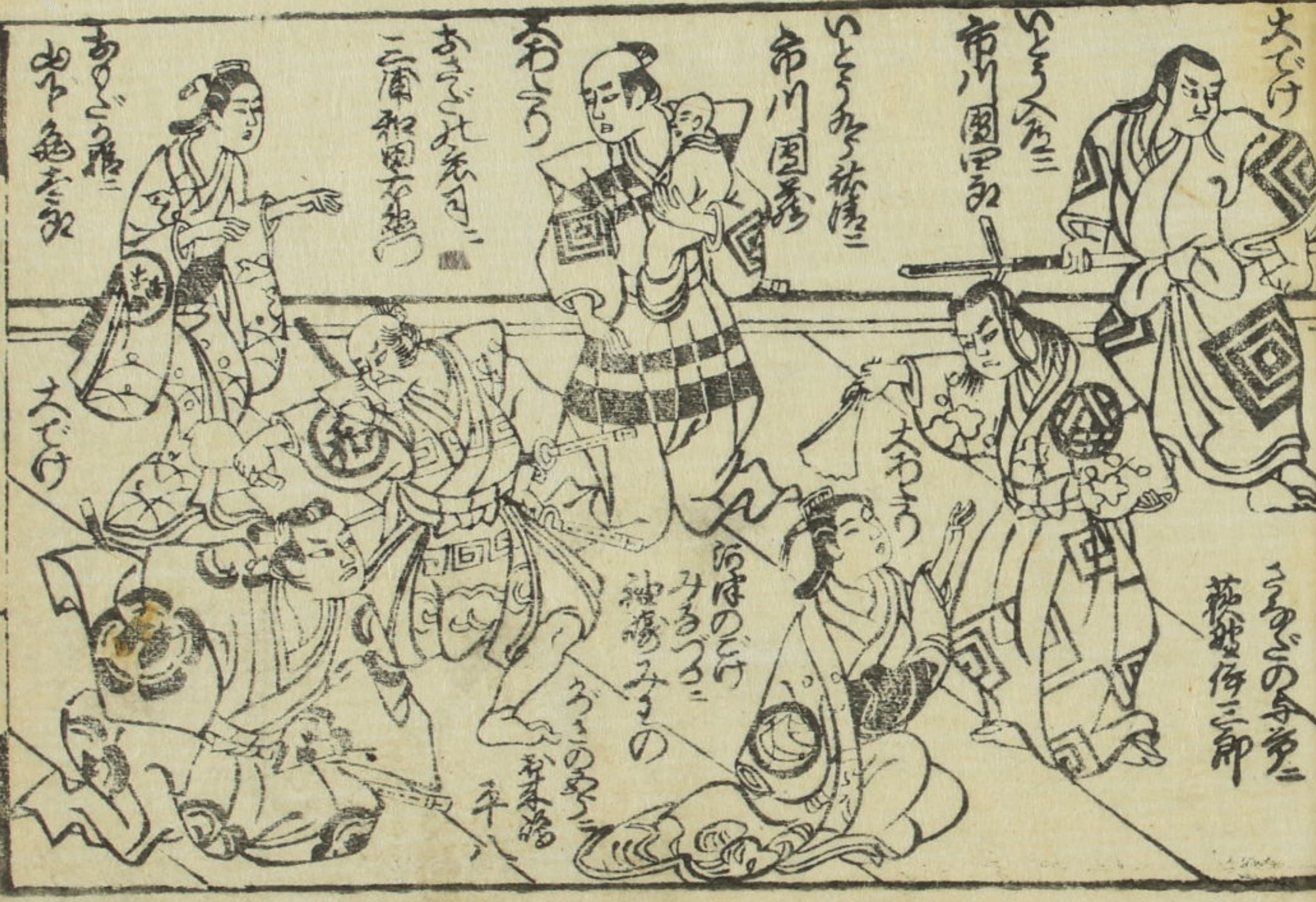
あつと
あつと

あつと
あつと

あつと
あつと

あつと
あつと

あつと



御國を之の所二部中其母を養ふ事あり
有公後者公を流魂後者流魂を養ふ事あり
長夜のまじりたる所をかくる事あり
親に敬侍の事あり多村を流魂に流魂を養ふ事あり
中をまじりたる所をかくる事あり

▲多車形之部

主 ① 沢村源三郎 中村

御國のまじりたる所をかくる事あり
公を養ふ事あり
長夜のまじりたる所をかくる事あり
親に敬侍の事あり
中をまじりたる所をかくる事あり

上上

御國のまじりたる所をかくる事あり

公を養ふ事あり
長夜のまじりたる所をかくる事あり
親に敬侍の事あり
中をまじりたる所をかくる事あり

▲若女形之部

主 吉 ① 沢川菊之丞 市村

御國のまじりたる所をかくる事あり
公を養ふ事あり
長夜のまじりたる所をかくる事あり
親に敬侍の事あり
中をまじりたる所をかくる事あり

あつらひに... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

上吉



柿川子代三郎 中村

濃川菊次郎 市村

つらや... 藤原... 藤原... 藤原...

つらや... 藤原... 藤原... 藤原...

つらや... 藤原... 藤原... 藤原...

つらや... 藤原... 藤原... 藤原...

